



謹賀新年



新年明けましておめでとう
ございます。市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年、吉野川においてラフティング世界選手権、池田ダム湖ではウエイクボードの「アジアウエイクシリーズ」が開催されるなど、国際大会が行なわれ、大きな注目を浴びました。国内外の注目を集めながら、世界最高レベルのラフティング競技が実施され、その真摯な姿に、多くの感動をいただき、本当に感謝申し上げます。

さらに今年8月には、池田ダム湖において、ウエイクボード世界選手権の開催も予定されており、2年連続して世界大会を開催することで、国内はもとより世界に「ウォータースポーツのまち三好市」を発信してまいります。同時に、地元の子どもたちがウォータースポーツを通して、水と親しむことで、本市の自然を見直すきっかけとなり、地域愛の醸成に

繋がればとの思いもあります。また、徳島県西部2市2町で取り組んでおります「にし阿波く剣山・吉野川観光圏」を中心として、今ある資源を活用し、三好市が、春夏秋冬・老若男女が楽しめる、丸ごと観光地となるように整備促進を図ってまいります。

次に、本市の重要施策についてでございますが、特に、「市民の生命と財産を守る」ことを主眼とし、発生が危惧されている南海トラフ巨大地震への対策をはじめとする防災・減災対策や、住環境整備など市民の暮らしを守る施策の強化・推進と、「三好市人口ビジョン」で示した2040年の市の人口目標14000人超の確保に向け、「三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「仕事づくり」「人の流れ」「結婚・出産・子育て」「まちづくり」「財政健全化」の重点戦略を達成するための重点期間と位置づけ、積極的に事業展開を推進します。

わたり安全で安心して暮らせる地域社会を築き、「三好市に住んでよかった」と実感していただけるよう、市民の暮らしに寄り添ったまちづくりを進めてまいります。

それでは本年が皆さまにとりまして、希望に満ち溢れ、健康で幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

2018年 元旦
三好市長 黒川 征一

市民の暮らしに寄り添った
まちづくりを

三好市長 黒川 征一



市

市民の皆さま、新年あけましておめでとうございませう。市民の皆さまには輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年中は市議会に対し、諸般に亘り、ご指導とご支援を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと日本各地で、異常気象による大きな災害が発生しました。本市においては大きな災害が発生しなかったことは幸いであります。

しかしながら、昨年末の国の地震調査委員会の公表による、四国地域の活断層地震予測は県西部で震度6強、発生確率は高いと想定されています。中央構造線断層帯に位置する本市にとっては極めて懸念され、平常時の危機管理体制が一層求められ、危機管理の司令塔である新庁舎の建設を促進し、平成32年度末、供用開始を目指すべきであります。

昨年中で特筆すべきは、多くの関係者の努力でラフティング世界選手権大会が開催さ

れ、世界各国から多くの方々を訪れ、賑わいと地元チームが健闘した素晴らしい大会となり、本市の歴史を刻んだことでもあります。ウォータースポーツのまちを掲げる三好市として、さらに8月の第30回ウエイクボード世界選手権大会を成功させ、内外に広く知られ、一層交流人口の増大に繋がり、地域経済への波及効果を期待する次第であります。

一方では、基幹産業の衰退と共に本市の生産年齢人口の流出で、定住人口減少に歯止めがかからない中、雇用の機会創出が大きな課題として、行政や議会もこれまで努力してきましたが、厳しいと言わざるを得ません。過疎地の共通の課題として、今後も行政と一体となり施策に取り組んでまいります。

平成32年度末で、合併した本市に対する優遇措置はすべて期限切れとなります。残る3年間で事業の取捨選択と優先順位をつけ、市民本位の事業を推進しなければなりません。特例措置の再延長が検討

されていますが、自立した財政運営とするためにも国の施策を注視してまいります。

三好市議会議員の任期は4月15日まで、2月定例会議のみとなりました。各議員が1期4年間の総括を行い、市民の代表として議会の果たす役割を肝に命じて、4月1日告示の選挙に臨み有権者の判断を仰ぐこととなります。今後とも市民各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。市民皆さんのご健勝とご多幸を心から祈念し、年頭のごあいさつといたします。

2018年 元旦
三好市議会議員 山子 凱雄

心新たに

三好市議会議員 山子 凱雄

